

一人ひとりが 自分らしく生きられる あかし

あかしジェンダー平等の
推進に関する条例
パンフレット



あなたは将来なりたいものや、やりたいことはありますか？
 誰かの「こうしないといけない」という言葉や思いに苦しんだり
 本当の自分の気持ちを閉じ込めたりしていませんか？
 あなたの人生はあなたのものです。
 あなたや周りのみんなが、性別などにとらわれず、
 個性を大切に自分らしく生きていける社会を目指すために、
 この「ジェンダー平等推進条例」ができました。
 これから“ジェンダー”について一緒に考えていきましょう。

ジェン

明るく元気な女の子。
 野球が得意で、
 人の前で話すことと
 食べるのが大好き。



この本の登場人物

ダー

ジェンの家の隣に住む
 心やさしい男の子。
 スポーツは苦手
 お菓子作りが得意。



インクルちゃん&ワケナイさん

やさしいまち明石の住人。ジェンとダーのご近所さん。

この本を読む前に…

あなたは思う？

次の①～⑩の項目について、あなたはどう思いますか？

この本を読む前に、そして読み終わってからもう一度考えてみてください。

- | | |
|--------------------|---------------------------------------|
| ① 家のことはお母さんがするものだ。 | ⑥ 女の子は赤のランドセルを使うべきだ。 |
| ② 女の子は総理大臣になれない。 | ⑦ 働くのは、男の人だ。 |
| ③ 男の人は泣いちゃいけない。 | ⑧ 人形遊びをしていたら、男の子が「入れて」と言ってきたので、ことわった。 |
| ④ 男の人はスカートをはかない。 | ⑨ 男の人は女の子を好きになる。 |
| ⑤ 野球は男の子がやるスポーツだ。 | ⑩ 女の子が「オレ」というのは変だ。 |

◆SDGsにも掲げられている「ジェンダー平等」

SDGsは国連で採択された世界共通の目標で、誰一人取り残さないという理念のもと、17のゴールが設定されています。ジェンダー平等の実現も5番目のゴールとして掲げられていて、すべての人が自分らしく生きられる社会を目指すうえで、重要なテーマの一つに位置づけられています。



←このマークのところに、各ページの内容が条例のどこと関連しているかが書いてあるよ！

ジェンダーって何？～女だから？男だから？～



第3条第1項



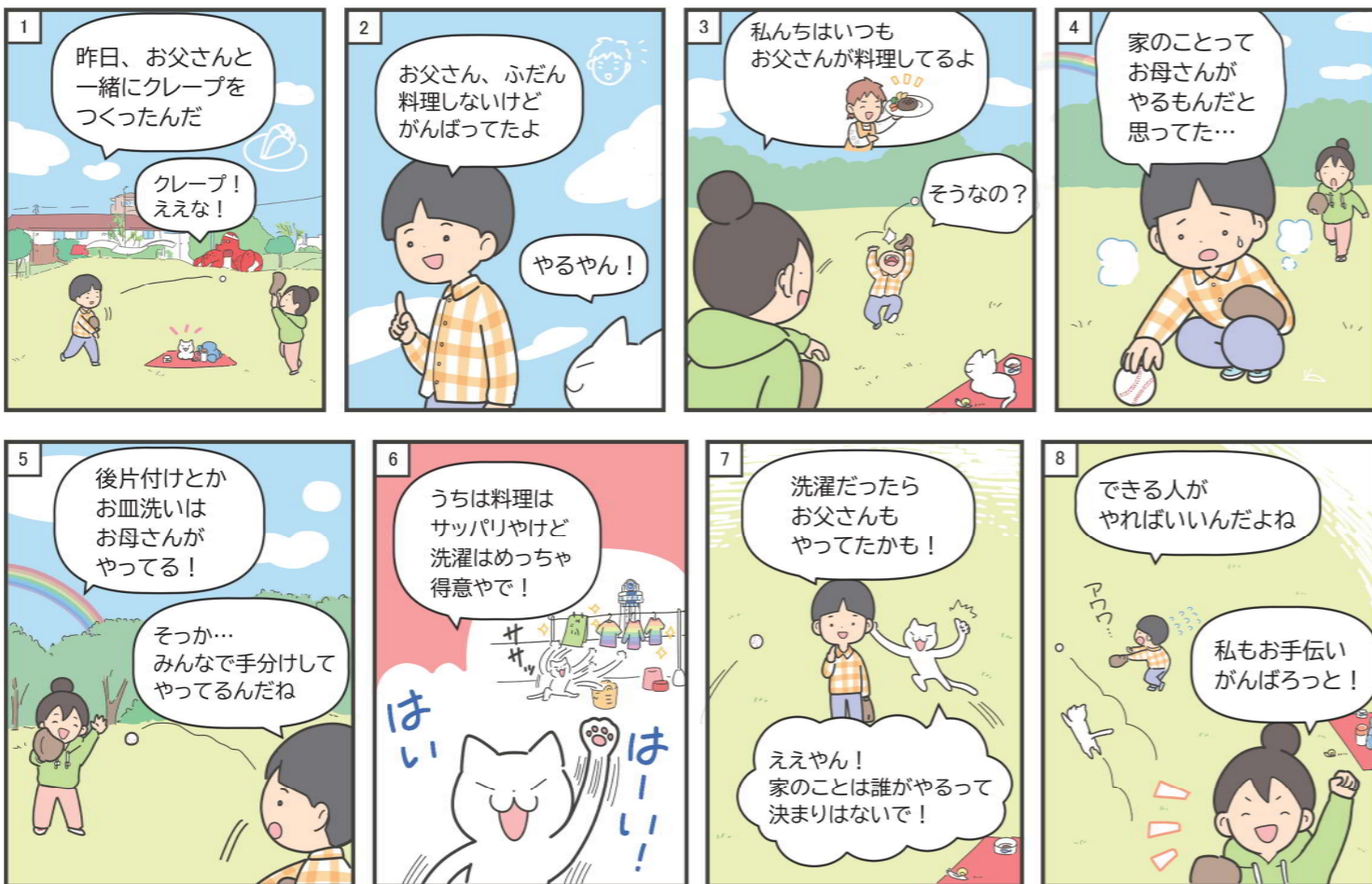
ジェンダーとは、「女性・男性はこうあるべき」という社会の中でつくれたイメージや役割分担のことです。消防士と言われると男性を、保育士と言われると女性をイメージする人もいますが、こうした仕事や役割と性別は本来関係ありません。最近では、女性の消防士や男性の保育士も増えてきています。「女だから～」「男だから～」と決めつけずに、自分らしく生きていけたらいいですね。



あなたの好きなこと、趣味を自由に書いてみよう

家のことは誰がする？

条例 第3条第3項



日々の生活の中で「男は仕事、女は家庭」というような、性別を理由にした役割分担について、思い当たる場面はありませんか？この性別による役割の決めつけや思い込みは社会の中にまだまだ残っていて、それによって自分のやりたいことができなったり傷つけられたりする人がいます。これまであたりまえとわかれてきた役割分担やルールについて、一度考えて見直してみませんか？



誰がやってもええんやで！



家のこと誰がやる？



あなたの家では、誰がやっているかな？（ ）の中に書いてみよう！
家族みんなにとってどんなバランスが良いか、一緒に相談してみよう！

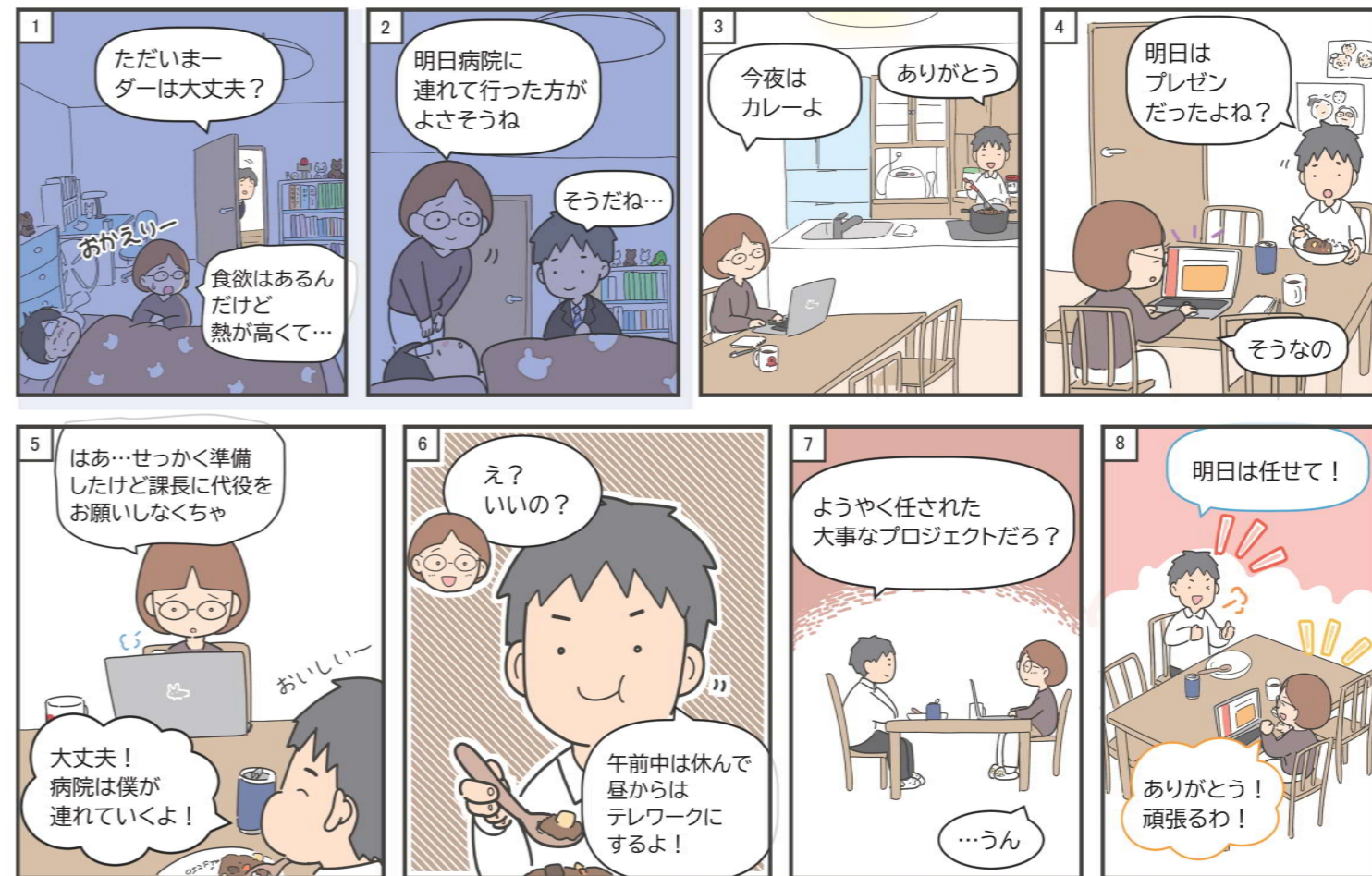
- | | |
|-----------------|--------------------|
| ・ごはんをつくる () | ・子どもにごはんを食べさせる () |
| ・お弁当をつくる () | ・子どものおむつ替え () |
| ・ゴミの分別・ゴミ出し () | ・子どもをトイレに連れていく () |
| ・掃除機をかける () | ・子どもをお風呂に入れる () |
| ・トイレ掃除 () | ・子どもと一緒に遊ぶ () |
| ・洗濯物を干す・たたむ () | ・子どもを寝かしつける () |
| ・買い物に行く () | ・子どもを病院に連れていく () |

◆アンコンシャスバイアス

「無意識の偏ったモノの見方」のこと。他にも、「無意識の思い込み」「無意識の偏見」「無意識バイアス」等と表現されることもあります。国の計画では、アンコンシャスバイアスによる悪影響が生じないよう、男女双方の意識改革と理解の促進を図ることとしています。

仕事と家庭の両立を、みんなで

条例 第6条/第21条/第22条



いろいろな働き方があります

自分らしく生きるために

かつてはみんなが通勤して職場で仕事することがあたりまえでしたが、今では時間や場所にしばられないいろいろな働き方があります。

週3日ぐらい働きたいな



短時間勤務

早い時間から始めて早く退社できたらいいな



時差出勤制度

家でリモートワークがしたい



在宅ワーク

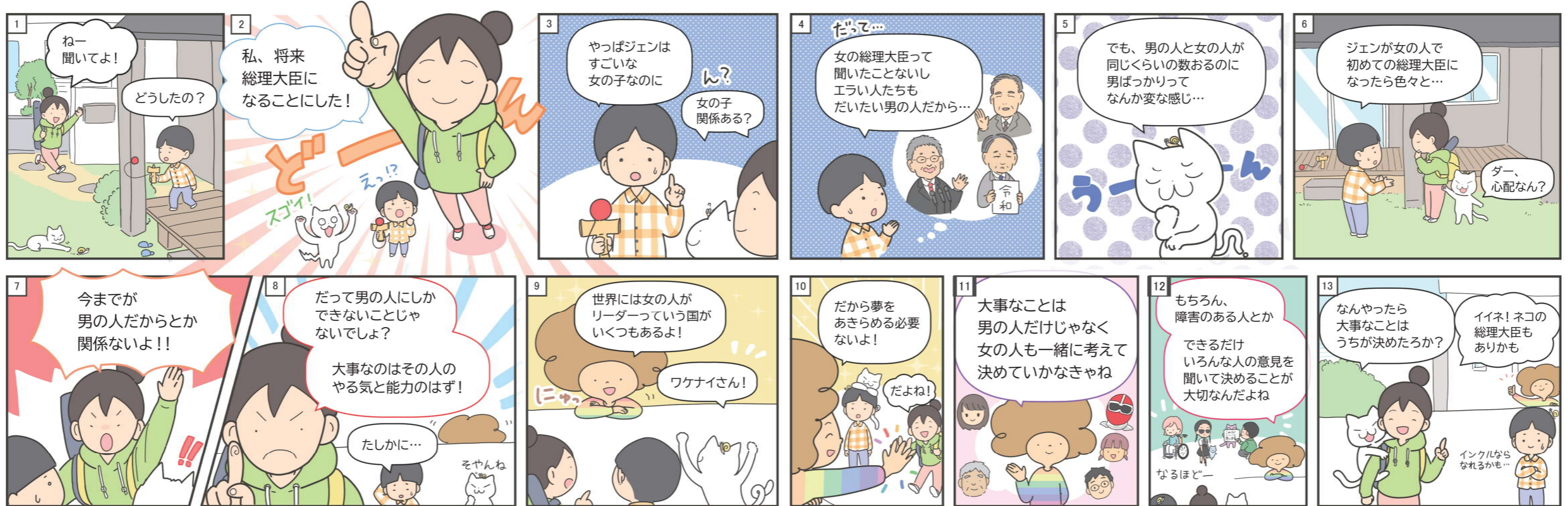
今住んでいるところを離れたくないから転勤がない仕事がいいな



地域限定勤務

仕事を休んで安心して育児に参加できるようにしたり、職場以外の場所でも仕事ができるようにするなど、仕事をする環境を整えていくことも大切ですが、それぞれのおうちでの役割分担を見直していくことも大切です。





世界の中で、日本ってどれくらいジェンダー平等が進んでるの?

ジェンダー平等のレベルを示す一つの指標が「ジェンダー・ギャップ指数」。これは国の経済・教育・政治参画などについて男女平等レベルを数値化したもので、2022年の日本は146か国中116位。主要先進国では最下位でした。

世界では女性がリーダーを務めている国もあるよ!

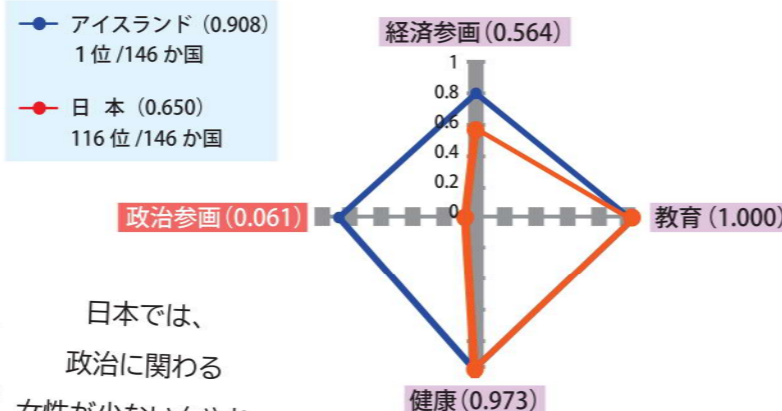


日本では、初代総理大臣からずっと男性が続いています。でも、特に女の子が総理大臣になれないというルールはありません。世界では、国のリーダーを務めた女の子の数が100人を超えています。



ジェンダー・ギャップ指数 (GGI) 2022年

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合（女性の数値 / 男性の数値）を示しており、0が完全不平等、1が完全平等。



日本では、政治に関わる女性が少ないんやね。

経済参画の数値が低いのは、女性管理職の少なさや、男女の所得格差が原因なんだから。働く環境のジェンダー平等も進めていかないとね。



大事なことは女の子も一緒に考えて! ~防災編~

例えば、災害時の避難所運営のことを男の人ばかりで考えていると、避難所生活の中での女の子のニーズや困りごとが想定できないため、女の子が生活しづらい環境になってしまいます。

避難所での女の子の困りごと



男女別の洗濯物干し場がないので、下着が干せない

夜間は灯りがないので、屋外の仮設トイレに行くのが不安



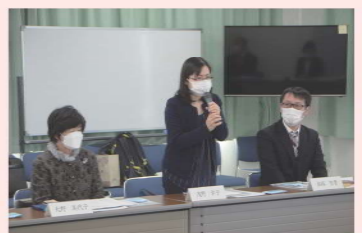
生理用品がほしいけど、配布しているのが男の人なので声をかけづらい



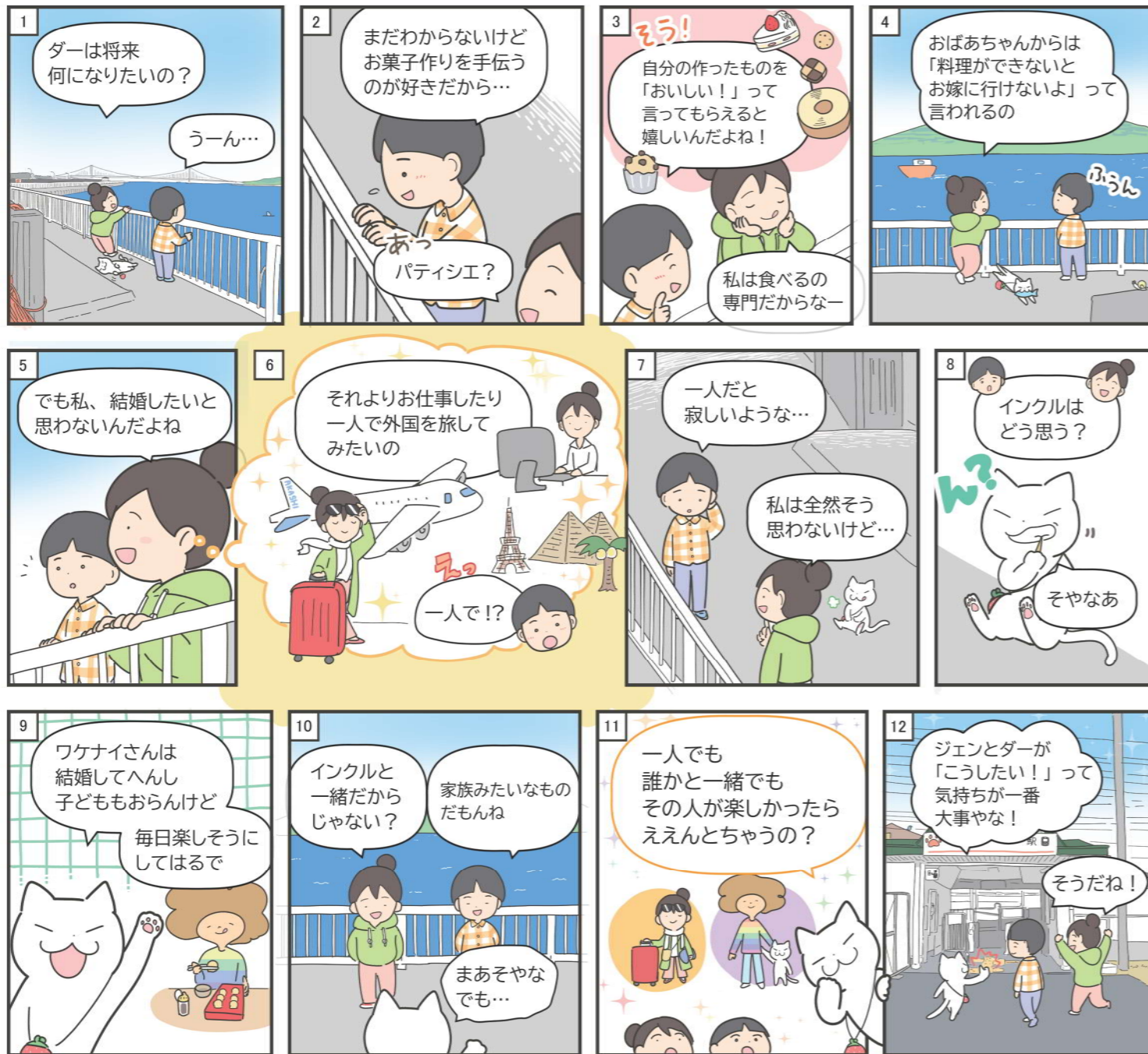
人目につかず着替えたり授乳できるスペースがない



安心して避難生活がおくれるように



市の防災会議で、これらの女性の困りごとについて話し合いました。これからは、女性も男性も安心して利用できる避難所をつくっていきます。



あなたの人生は、あなたのもので。

自らの意思で責任を持って「自分らしく生きる」ことが大切です。

その人生の中で、誰かを好きになるかもしれないし、ならないかもしれない。

結婚するのかしないのか、誰かと一緒に自分一人か、子どもを産むか産まないか。

「自分らしく生きる」ことは、いろいろなかたちがあります。

そして、家族のかたちも一つではありません。

いろいろな家族のかたちがあります。



こんな制度もあるよ！
パートナーシップ・ファミリーシップ制度



◆リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

「リプロダクティブ・ヘルス」は、性や子どもを産むことに関わる全てにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも本人の意思が尊重され、自分らしく生きられることをいい、「リプロダクティブ・ライツ」は、生殖に関わることについて十分な知識を得られ、妊娠・中絶・出産について自分自身で選択し、決められる権利のことをいいます。



ジェンダーとは、社会の中でつくられた男女のイメージや役割分担のこと（3ページ参照）ですが、「社会」とは何を指すのでしょうか？

それは、わたし一人ひとりのことです。

誰かの可能性を狭めたり、誰かを

傷つけたりすることがないように、

みんなで一緒に話し合いながら、

一人ひとりが自分らしく生き

られる明石を目指していきましょう。



しょうちゅうがっこう しょういっすいしんこう せっち
小中学校にジェンダー教育推進校を設置して、自分の心や体を大切にするために必要なことや、ジェンダー平等のテーマに関するいろんなことを学んでいます。

子どもを支える大人のみなさんへ

子どもたちの権利は、私たち大人が守らなくてはなりません。私たちの考え方や言葉が、子どもたちの中に「あたりまえ」として根付いていくことも少なくありません。そしてそれが、将来的に子どもたち自身の選択にも影響を与えるかもしれません。すべての子どもたちが自分らしさを大切にして生きられる社会を、みんなで一緒につくっていきましょう。

「どんな自分になりたい？」あなたのこれからのことを書いてみよう
(これからやりたいこと、将来の夢 など)

男の子は女の子が好き？

条例 第8条第4項



男の人がみんな女の人を好きになるわけではありません。異性を好きになる人も、同性を好きになる人も、男の人も女の人も好きになる人も、誰も好きにならない人もいます。また、自分がどんな性別だと感じるか、どんな性別をあらわすかも人それぞれで、一人ひとり違ってきます。この好きになる性、思う・感じる性、あらわす性の3つの要素の組み合わせをソジー (SOGIE) といいます。



ソジーを知ってソジトモになろう！

自分のソジーも、みんなのソジーも大切にできる人のことを、あかしでは「ソジトモ」と呼んでいます。あなたもぜひ、ソジトモになってね！



ソジーを知ってソジトモになろう (YouTube 動画)

◆カミングアウトとアウトイング (暴露)

「カミングアウト」とは、本人が自分の性のあり方を伝えたい人に伝えたいタイミングで打ち明けることであり、「アウトイング」とは、カミングアウトを受けた人が本人の同意がないままに、その人の性のあり方を他の人にばらしてしまうことです。相手がだれであっても、勝手に判断して他の人に伝えてはいけません。

どんなことが差別なの？

条例 第3条第2項 / 第8条



「差別」と聞くと、どんなイメージを思い浮かべますか？ 女性差別など分かりやすい差別だけでなく、形として見えにくいものもたくさんあります。「これまでそうだったから」という決めつけで、無意識に誰かを排除してしまうことも差別です。私たち一人ひとりが「女だから～」「男だから～」という決めつけをしないことが、差別のない社会の実現につながります。

【医学部不正入試事件とは？】

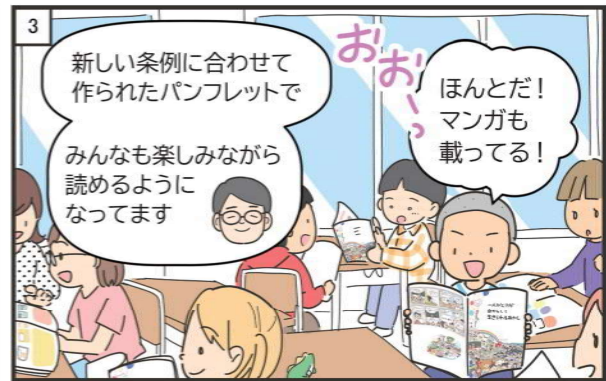
「女性である」ということを理由に、不正に減点し、女性にとって不利な採点を行った事件。2018年東京医科大学の不正入試が発覚したことをきっかけに、次々と全国の医学部入試で差別的な不正が明るみにいった。 「医者は重労働だから女性には務まらない」「女性は結婚や出産で仕事を辞めたり、当直を外れたりするだろう」といった決めつけで、女性を不利に扱うことは差別にあたります。

差別以外にも...

条例における「性別等に起因する人権侵害」は、差別だけでなく、不当な制度や慣行、セクシュアルハラスメントなどのハラスメント、DV、カミングアウト (10 ページ参照) の強制や禁止、アウトイング (10 ページ参照) など様々なものを含みます。



みんなが自分らしく生きられるまちへ



この本を手にとってくれてありがとう！

ジェンダーかだいに関わる課題はたくさんあるけれど、

一人ひとりが自分のこととして

考えていくことで社会は変わります。

みんなが自分らしく生きられる

ジェンダー平等社会を一緒に

目指していきましょう！



お問い合わせ

明石市政策局インクルーシブ推進室

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

TEL 078-918-6037 FAX 078-918-5136

✉ inclusive@city.akashi.lg.jp